



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年8月8日

上場会社名 株式会社 バナ - ズ
 コード番号 3011 URL <http://www.banners.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 小林 由佳
 (氏名) 大内 修
 TEL 048-523-2018

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	1,017	10.3	36	103.3	32	17.2	128	
2019年3月期第1四半期	923	5.8	17	16.5	28	46.1	26	230.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 127百万円 (%) 2019年3月期第1四半期 26百万円 (208.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	7.67	
2019年3月期第1四半期	1.45	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	7,508	2,447	32.5	146.18
2019年3月期	6,970	2,608	37.3	155.78

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,437百万円 2019年3月期 2,599百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				2.00	2.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				2.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)									
通期	4,133	0.4	155	11.2	140	19.8	16		0.97

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	20,236,086 株	2019年3月期	20,236,086 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	3,490,477 株	2019年3月期	3,490,202 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	16,745,716 株	2019年3月期1Q	18,146,350 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている連結業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(4) 経営上の重要な契約	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国は堅調なもの、欧州・中国の景気低迷等により、全体として減速基調となりました。米国経済は、回復基調が継続しましたが、英国のEU離脱交渉の難航や米中の貿易摩擦激化等により、先行き不透明感が増大しております。

一方わが国経済は雇用情勢の改善が進んで個人消費が持ち直したほか設備投資が増加するなど景気は緩やかに回復しましたが、先述の米中貿易摩擦を中心とした世界経済に対する不確実性の影響も見受けられます。

このような事業環境下におきまして、当社グループは全社を挙げて各事業の特性及び付加価値性を活かした営業活動を推進いたしております。

不動産利用事業におきましては、更なる安定収入の維持拡大に取り組み、埼玉県本庄市所在の当社所有の商業施設の再開発事業を進めております。2018年8月に着工した第1期新築工事は、大型食品スーパー棟1棟と銀行棟1棟の計2棟が2019年5月に竣工し、同年6月に開店稼働いたしております。また第2期新築工事の大型テナント棟1棟と中型テナント棟1棟の計2棟につきましては、2019年12月に着工し、2020年5月に竣工、同年6月に開店稼働予定です。この2020年6月をもちまして当該再開発に係る全ての物件が稼働する予定です。また、群馬県の高崎駅近郊の当社所有の土地につきましては、現状の貸駐車場から6階建ての賃貸オフィスビルを建設する計画を進めており、2019年6月に建設予定の建物に関する定期建物賃貸借契約を締結しました。同年9月に建設工事に着手し、2020年3月竣工、同年6月に賃貸開始予定です。

不動産業界は、用地取得競争の激化や建築価格の上昇などの懸念材料が依然として多く、厳しい経営環境が続いておりますが、東京オリンピック後の不動産市況を見据えて、好条件の賃貸用物件の新規取得を目指して取り組んでまいります。

自動車販売事業におきましては、お客様の満足度向上を重点に活動し、付帯利益獲得のため、提供商品の知識・技能向上を推進してまいりました。新車部門では軽自動車のN-BOXの販売台数が前年同期を上回り、売上高・利益に貢献いたしました。中古車部門では2018年6月にオープンした寄居店オートテラスコーナーにおきまして、売上高・利益の底上げを図りました。前期に引続き体制強化やトップセールスの推進にも取り組んでまいりました。

また、楽器販売事業におきましては、一層の顧客ニーズの取り込みや万全なサービス提供を行い、安定した収益の確保に努めました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高1,017百万円（前年同四半期比110.3%）、営業利益36百万円（同203.3%）、経常利益32百万円（同117.2%）、特別損失203百万円を計上し、親会社株主に帰属する四半期純損失128百万円（前年同四半期は親会社に帰属する四半期純利益26百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。なお、前第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました平成産業株式会社の当社所有の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「建材販売」セグメントを報告セグメントから除外しております。

①不動産利用

売上高は82百万円（前年同四半期比95.7%）、セグメント利益は59百万円（同94.7%）となりました。

②自動車販売

売上高は765百万円（前年同四半期比115.6%）、セグメント損失は3百万円（前年同四半期はセグメント損失15百万円）となりました。

③楽器販売

売上高は169百万円（前年同四半期比106.5%）、セグメント利益は20百万円（同130.5%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末比538百万円増の7,508百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末比699百万円増の5,060百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末比160百万円減の2,447百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2019年5月14日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

当連結会計年度(2020年3月期)の連結業績の見通しにつきましては、売上高4,133百万円(前年同期比99.6%)、営業利益155百万円(同88.8%)、経常利益140百万円(同80.2%)、親会社株主に帰属する当期純損失16百万円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純利益51百万円)を見込んでおります。これらの大きな要因としては、当第1四半期累計期間におきまして、埼玉県本庄市所在の当社所有の商業施設の再開発計画にかかる特別損失(建物解体費用等)を計上したことがあげられます。なお、2021年3月期には当該再開発工事の全てが完了し、この再開発に係る全商業施設の稼働開始を予定しております。このことにより建物老朽化による修繕費用の発生等のリスクがなくなり、また再開発着工前の2017年3月期の収支実績を上回る見込みであります。

(注) 業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

(4) 経営上の重要な契約

当社は、2019年6月17日開催の取締役会において、群馬県高崎市の当社所有の土地に今後建設予定の固定資産(オフィスビル)の賃貸に関する定期建物賃貸借契約を締結することについて決議を行い、以下のとおり契約を締結しております。

契約会社名 (賃貸人)	相手先の名称 (賃借人)	契約締結日	契約内容	契約期間
株式会社パナース	大和情報サービス株式会社	2019年6月17日	定期建物賃貸借契約	賃貸開始日より30年間 (注)

(注) 2020年6月賃貸開始予定

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,022,006	1,046,244
受取手形及び売掛金	87,312	102,237
商品及び製品	495,762	513,950
原材料及び貯蔵品	3,002	2,854
前払費用	8,293	13,606
短期貸付金	460,066	458,566
その他	10,724	72,423
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	2,087,164	2,209,879
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,532,707	3,166,403
減価償却累計額	△2,637,339	△1,488,600
建物及び構築物(純額)	895,368	1,677,803
機械装置及び運搬具	191,387	206,695
減価償却累計額	△73,833	△78,373
機械装置及び運搬具(純額)	117,553	128,322
工具、器具及び備品	41,438	41,559
減価償却累計額	△30,718	△31,102
工具、器具及び備品(純額)	10,719	10,456
土地	3,296,859	3,296,859
リース資産	51,364	45,490
減価償却累計額	△34,871	△30,045
リース資産(純額)	16,493	15,445
建設仮勘定	485,537	62,462
有形固定資産合計	4,822,532	5,191,349
無形固定資産		
投資その他の資産	1,508	1,921
投資有価証券	18,409	18,409
長期貸付金	7,603	7,586
繰延税金資産	14,762	60,174
その他	25,404	26,203
貸倒引当金	△7,164	△7,164
投資その他の資産合計	59,015	105,209
固定資産合計	4,883,056	5,298,480
資産合計	6,970,221	7,508,360

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	294,231	267,585
短期借入金	440,000	716,000
1年内返済予定の長期借入金	377,388	304,392
1年内返還予定の預り保証金	50,369	59,110
未払費用	25,341	22,393
未払金	31,332	276,100
未払法人税等	12,676	3,589
未払消費税等	22,529	8,545
賞与引当金	11,508	5,458
前受金	202,839	196,957
その他	21,692	33,087
流動負債合計	1,489,908	1,893,221
固定負債		
長期借入金	1,056,834	1,030,092
繰延税金負債	326	—
役員退職慰労引当金	8,601	9,326
退職給付に係る負債	77,985	80,101
預り保証金	941,665	1,232,490
長期前受収益	49,453	84,611
再評価に係る繰延税金負債	718,180	718,180
その他	18,558	12,525
固定負債合計	2,871,607	3,167,327
負債合計	4,361,515	5,060,548
純資産の部		
株主資本		
資本金	307,370	307,370
資本剰余金	576,031	576,031
利益剰余金	722,638	560,630
自己株式	△646,368	△646,400
株主資本合計	959,671	797,630
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	1,639,601	1,639,601
その他の包括利益累計額合計	1,639,601	1,639,601
非支配株主持分	9,432	10,579
純資産合計	2,608,705	2,447,811
負債純資産合計	6,970,221	7,508,360

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	923,010	1,017,833
売上原価	698,941	771,764
売上総利益	224,068	246,068
販売費及び一般管理費	206,338	210,030
営業利益	17,729	36,037
営業外収益		
受取利息	3,103	1,919
受取配当金	75	60
為替差益	226	—
貸倒引当金戻入額	11,614	—
その他	1,071	1,465
営業外収益合計	16,091	3,445
営業外費用		
支払利息	5,621	5,698
その他	76	819
営業外費用合計	5,697	6,518
経常利益	28,123	32,965
特別利益		
役員退職慰労引当金戻入額	9,788	—
特別利益合計	9,788	—
特別損失		
固定資産除却損	—	183,018
立退費用	—	20,000
特別損失合計	—	203,018
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	37,911	△170,053
法人税、住民税及び事業税	5,748	3,055
法人税等調整額	5,203	△45,738
法人税等合計	10,952	△42,683
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,959	△127,369
非支配株主に帰属する四半期純利益	570	1,146
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	26,389	△128,516

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	26,959	△127,369
四半期包括利益	26,959	△127,369
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,389	1,146
非支配株主に係る四半期包括利益	570	△128,516

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	建材販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高							
外部顧客への売上高	86,564	661,864	159,450	15,130	923,010	—	923,010
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,894	63	—	—	14,958	△14,958	—
計	101,459	661,928	159,450	15,130	937,968	△14,958	923,010
セグメント利益又は 損失(△)	63,063	△15,147	15,472	338	63,727	△45,997	※ 17,729

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△45,997千円には、セグメント間取引消去3千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△46,000千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	不動産利用	自動車販売	楽器販売	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
外部顧客への売上高	82,878	765,141	169,813	1,017,833	—	1,017,833
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,224	89	—	15,314	△15,314	—
計	98,102	765,231	169,813	1,033,147	△15,314	1,017,833
セグメント利益又は 損失(△)	59,717	△3,612	20,186	76,290	△40,252	※ 36,037

(注) セグメント利益又は損失(△)の調整額△40,252千円には、セグメント間取引消去2千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△40,254千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

※四半期連結損益計算書の営業利益

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、連結子会社でありました平成産業株式会社の当社保有の全株式を譲渡し連結の範囲から除外したことに伴い、当第1四半期連結累計期間より「建材販売」セグメントを報告セグメントから除外しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間における当社グループの報告セグメントは、「不動産利用」、「自動車販売」、「楽器販売」の3区分で構成されることとなりました。